

監督、スタッフ、出場選手たちが 晴れやかにレースを報告!

第90回箱根駅伝総合9位!!

祝 権獲得!!



左から藤原さん、高田さん、谷川さん、真家さん、野本さん、堅谷さん陸上競技部 OB

左から岡田監督、山下コーチ、東島彰吾、ダンカン・モゼ、金森寛人、佐護啓輔、尾上慎太郎、大森千幸、宇田朋史、奥谷裕一(主将)、木寺良太ら出場選手、玉本賢太主務



奥谷 裕一主将
(商学部経営学科4年)

「沿道からの声援が大きな力となりシード権を獲得できた。新チームは佐護選手を中心に今回以上の成績が残せるよう頑張っていくので引き続き応援をお願いします!」と奥谷主将がチームを代表して感謝の言葉を伝えました



プロや実業団で活躍する
陸上競技部OBも駆けつけた!



野本 大喜さん (安川電機 2013年卒)

「前大会、チームとして本戦に出場できなかった悔しさは忘れられない。シード権獲得は悔しさをバネに、岡田監督の元で厳しいトレーニングに耐えた成果だと思う。今回はもっと上位を目指せるのではないかと。私も実業団選手として後輩たちの頑張りにつけたい。後輩の健闘をたたえたい。」

1月2、3日に行われた第90回東京箱根間往復大学駅伝2年ぶり35回目の出場となった拓大陸上競技部は総合9位で見事シード権を獲得。レース終了後には大手町サンケイビルにおいて慰労会が開催され、大学関係者やロンドン五輪マラソン日本代表の藤原新さん、前回の箱根駅伝に学連選抜として出場した野本大喜さんなど卒業生が駆けつけ、後輩の健闘をたたえました。

さらなる高みを目指して 伝統のたすきをつないだ選手たちに、箱根を駆けつけた感想と、そこから見えてきた課題を聞いた

出場選手Q&A ①走り終えての感想は? ②今回の結果をどう受け止めるか? ③自身とチームの課題は?

復路 13位 : 5時間37分14秒

6区 箱根 ▶ 小田原 20.8km

大島 千幸選手
(商学部経営学科3年 人吉高校)
区間個人タイム 1時間00分58秒 (10位)
復路累計タイム 1時間00分58秒 (10位)

- ①初めての大会で緊張もあったが、平常心で走れた。
- ②自分があと数十秒~1分遅ければ8位、7位もあったかもしれない。
- ③筋力強化。粘り。チーム力強化。

7区 小田原 ▶ 平塚 21.3km

櫻井 一樹選手
(商学部経営学科3年 前橋育英高校)
区間個人タイム 1時間06分14秒 (17位)
復路累計タイム 2時間07分12秒 (17位)

- ①もっと強くなりたかった。
- ②自分がもっと走ればさらに上に行けたはず。反省している。
- ③精神面。底上げ。

8区 平塚 ▶ 戸塚 21.5km

宇田 朋史選手
(商学部経営学科1年 熊谷高校)
区間個人タイム 1時間07分40秒 (17位)
復路累計タイム 3時間14分52秒 (18位)

- ①チームに迷惑をかけて申し訳ない。プレーキになってしまっている。
- ②まだまだ自分は甘い。力不足。これからさらに努力していかなくてはならない。
- ③自分はすべて。チームは選手層が課題。

9区 戸塚 ▶ 鶴見 23.2km

奥谷 裕一主将
(商学部経営学科4年 鳴門高校)
区間個人タイム 1時間10分44秒 (10位)
復路累計タイム 4時間25分36秒 (14位)

- ①自分の走りはタイム的に物足りなかったが、チームがシード権を取ってうれしい。
- ②もっと上に行けたと思う。だが、アクシデントもあったので仕方ない。
- ③もっとスピードと持久力をつける。後輩たちには最後まで油断しないよう頑張してほしい。

10区 鶴見 ▶ 東京 23.1km

木寺 良太選手
(商学部経営学科4年 松浦高校)
区間個人タイム 1時間11分38秒 (11位)
復路累計タイム 5時間37分14秒 (13位)

- ①最初で最後の箱根を走れてうれしかった。1~9区の選手の汗が染みこんだタスキは重かった。9位だったけど、シード権を取れてうれしい。これもみんなが一人一役を果たした結果だと思う。
- ②順位を2つ落としてしまったのが心残り。
- ③来年は今回の記録よりも上に行けると思う。佐護を中心に頑張してほしい。

往路 6位 : 5時間35分52秒

1区 東京 ▶ 鶴見 21.4km

東島 彰吾選手
(商学部経営学科2年 鳥栖工業高校)
区間個人タイム 1時間04分15秒 (17位)
往路累計タイム 1時間04分15秒 (17位)

- ①もっと前から準備をしっかりしておくべきだった。ハイペースといわれているが、あれくらいついていけないと話にならない。
- ②あの時の状態ではそれなりの走りだったが、万全の状態ではなかった。満足していない。
- ③ケガをしないこと。全員で競争意識を持つこと。

2区 鶴見 ▶ 戸塚 23.2km

ダンカン・モゼ選手
(国際学部国際学科4年 ガル高校)
区間個人タイム 1時間08分44秒 (4位)
往路累計タイム 2時間12分59秒 (7位)

- ①花の2区をずっと希望して走れたのは良かったが、区間4位には納得いかない。しかし、10人抜きができたのは本当に良かった。シード権を獲得できてうれしい。
- ②9位でシード権を獲得したが、7位は良かったと思う。
- ③後半の粘りが足りなかった。復路の選手をもう少し楽しませたかった。

3区 戸塚 ▶ 平塚 21.5km

金森 寛人選手
(商学部経営学科2年 関根学園高校)
区間個人タイム 1時間05分18秒 (11位)
往路累計タイム 3時間18分17秒 (6位)

- ①ホッとしているが、個人の結果としてはまだまだなので、これから精進していきたい。駅伝を経験できたことは成長につながると思う。
- ②総合9位は本当にうれしい。復路でアクシデントがあった中でのシード権獲得なので、力が付いたのだと実感した。監督の練習は間違っていないし、自分たちがやってきたことは正しかったのだと心から思った。
- ③1人では1km3分で余裕を持って走っていないことが課題。チームとしてはAチーム以外の選手の底上げと、選手1人1人の陸上に対する意識改革が必要だと思う。掃除やあいさつなどの日常生活も改善すべきだ。

4区 平塚 ▶ 小田原 18.5km

佐護 啓輔選手
(商学部経営学科3年 西彼杵高校)
区間個人タイム 55分52秒 (8位)
往路累計タイム 4時間14分09秒 (6位)

- ①最低限の走りはできたので、力が付いたことは実感できた。でも、まだまだ力が足りないのも思ったし、持ちタイム以上の走りをしてほしい選手が多かったのを見習いたい。
- ②今回の結果は目標を達成できたので良かったと思う。
- ③もっと力を付けて2区で勝負できるように。チームは上級生の自覚がキーワードだと思う。

5区 小田原 ▶ 箱根 23.4km

尾上 慎太郎選手
(商学部経営学科3年 松浦高校)
区間個人タイム 1時間21分43秒 (9位)
往路累計タイム 5時間35分52秒 (6位)

- ①見本のような駅伝ができて良かった。シード権も取れたし、何よりこのチームで駅伝ができて楽しかった。
- ②シード権を取って素直にうれしいが、これで満足せず、さらに上を目指していく。
- ③足腰の強化と平地でも走れるようスピード対策をしたい。チームとしては競争意識を高めるようにしたい。

総合 9位

総合順位	大学名	成績
1	東洋大	10時間52分51秒
2	駒大	10時間57分25秒
3	日体大	11時間03分51秒
4	早大	11時間04分17秒
5	青学大	11時間08分53秒
6	明大	11時間10分09秒
7	日大	11時間12分52秒
8	帝京大	11時間13分03秒
9	拓大	11時間13分06秒
10	大東大	11時間14分43秒
10位までシード権獲得		
11	法大	11時間15分33秒
12	中央学大	11時間15分40秒
13	東海大	11時間17分52秒
14	東農大	11時間18分02秒
15	中大	11時間18分43秒
16	順大	11時間19分03秒
17	国学院大	11時間20分44秒
18	神奈川大	11時間23分47秒
19	城西大	11時間25分42秒
20	上武大	11時間25分56秒
21	専大	11時間28分39秒
22	国士大	11時間38分35秒
-	山梨学大	記録なし